

Topics from within

AIAA Technical Committee on Communications Systems

本誌編集委員 風神 裕

2002年5月12日 AIAA Technical Committee on Communications Systems (TCCS) がカナダモントリオール市の Hilton Montreal Bonaventure ホテルにて開催された。ICSSC-20 開催の前日であり、30人を超える委員が出席、前前回及び前回設けられた電話による会議参加サービスは今回見送られた。



TCCS 会議の様子

TCCS 委員長である TRW Dr. Smith の開会宣言に続き、出席者全員の自己紹介。日本からは、下名の他に、飯田委員（通信総研理事長）、北爪委員（ジェピコ社顧問）に加え、オブザーバーとして、通信総研鈴木部門長、NT スペース小淵部長、アイシーエス企画平間さんが出席。

現在の TCCS 委員総数は38名、その構成は、米国28名、カナダ4名、フランス1名、日本3名、ルクセンブルグ2名である。委員候補8名がリストアップされ、出席していた鈴木部門長の TCCS 委員就任がその場で採択された。

Dr. Rigley から ICSSC-20 の状況報告が下記の通りあった。

会議登録者：225名（5月12日時点）

論文登録数：225件（米国80件、欧州80件、日本30件、残りはカナダ他）

次に、TCCS 委員会関連の Web-site として、下記6サイトアップデートの紹介があった。

Main TCCS : www.aiaa.org/tc/cms/

General ICSSC : www.aiaa-icssc.org

ICSSC-20 : www.icssc2002.com

ICSSC-21 : www.ics-inc.co.jp/aiaaicssc21/

Space Japan Review (English version) : www.aiaa.org/sjr/

Space Japan Review (Japanese version) : www2.crl.go.jp/mt/b150/SJR/

この後、下名より、ICSSC-21の準備状況を報告、次の変更提案を説明し了解された。

- Technical Visit 実施日を訪問先受入れ都合上、4月19日から18日に変更
- 登録開始を03年1月から02年11月に早める
- Proceeding は On-Line + CD ROM(先着 350 枚)に変更



TCCS 委員会メンバー

引続き、Japan Forumの活動内容を、鈴木部門長から、最近4ヶ月の下記活動内容を中心に報告した。

- (1) ICSSC-21 アジアキャンペーン結果
- (2) スペースジャパンレビュー 2/3月号内容

この後、Award Sub-Committee から本年度 AIAA Aerospace Award にジョージワシントン大学 Niel Helm 教授及び通総研飯田理事長が選ばれた旨紹介があった。授賞式は5月15日。更に、2003年のAwardについて、議論。ICSSCが

毎年行われるようになった為、規約上隔年の Aerospace Awards を毎年とするよう AIAA 本部と交渉することになった。

2004年開催の ICSSC-22 を、米国西海岸カリフォルニア州の Monterey に決定。また、大会 General Chair と Technical Chair を Lockheed Martin 社にて引き受けてもらうことになった。2005年度は欧州開催になるが、候補地イタリアで Ka-バンドの学会と共催することを検討課題とした。

最後に、次回 TCCS 委員会を10月11日米国ヒューストンで開催することを決め、閉会。

以上